

学士課程における入学者受け入れの方針について

アドミッション・ポリシー

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般選抜試験の他に、総合型選抜、学校推薦型選抜、大学入学共通テスト利用入学試験などの実施により多様な入学者選抜を行います。

これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、小論文、課題レポート、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

医療保健学部 看護学科

看護学科では、思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を前提とし、人間と社会に対する幅広い知識と、医療・看護に関する専門知識・技術をもって看護を実践できる能力、看護の対象となる人や他職種と連携・協働して看護を展開するコミュニケーション能力、社会や医療現場の変化に対応しながら、自ら考え、行動できる力を備えた看護職を育成します。そのために、次のような資質を有する人の入学を求めています。

看護職は、日々変化し続ける医療・看護ニーズに対応していくため、生涯に渡って成長し続けることが求められます。そのため、基礎学力を基盤として、学ぶ楽しさを感じ、積極的かつ主体的に学ぼうとする意欲を持った人を求めています。

また、人々の価値観が多様化する中で、一人ひとりの望む暮らしを実現するためには、人々の生活や地域社会に関心を注ぎ、他の専門職と連携・協働することが不可欠です。看護学科では、人間に対する関心と人を大切に思う心を有し、他者と協力し合いながら物事を達成しようとする人を求めています。

現在の日本は、誰もが経験したことのない超高齢社会を迎えています。絶えず変化する看護の現場において、経験したことのない困難に直面しても前向きに乗り越えようとする姿勢を有する人を求めています。

さらに、看護学科では、自由な発想を大切にし、新しいことに挑戦しようとする姿勢を有する人の入学を期待しています。

※本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

予め提示するキーワードを基に、知識・能力を活用して作成する小論文により、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて数学・理科の2教科4科目の中から1科目を選択解答する方式により、いわゆる理系科目の基礎学力に重点をおいた学習能力を判定します。

一般選抜（B日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

医療保健学部 医療栄養学科

健康と食生活の関係が重視されていることから、医療現場での高度専門職の役割はますます大きくなっています。医療栄養学科では、医療の専門家の連携による「チーム医療」の一員として、参画できる高度専門職の養成を目指しています。現場に強い高度専門職を育成していくために最も必要なものが医療現場とのつながりで、本学科の臨地実習には、NTT 東日本関東病院をはじめ、多くの病院や高齢者施設などを実習施設として実践的な臨床教育を行います。

また、優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設し、医療現場に求められる管理栄養士を育成します。

「医食同源」という言葉もあるように人の健康を守る上で、医と食は切り離しては考えられません。特に、今日の社会は、少子高齢化という急激な変化に伴い、生活習慣病対策は重要であり、管理栄養士、臨床検査技師など高度専門職はこれまで以上に病気の治療のみならず予防医学の観点から社会の要望に応える必要があります。さらに、医療現場に強い高度専門職は、病院だけでなく学校、保健センター、福祉施設、事業所、食品会社、給食会社、スポーツ施設など、食と健康に関わる様々な職場でも求められています。

また、教育現場での食育の担い手として、安全な食事の提供を通して健康を支援することも重要です。そこで、医療栄養学科では、食と健康に関する知識をより深く追求する意欲を持っている学生、人とコミュニケーションができる能力を持ち、社会・地域住民に対して健康の面で貢献したいと考えている学生、大学で学んだことを実生活で一層有効活用したいと考えている学生を歓迎します。

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

事前に提示する課題に対して、知識・能力を活用して、その解決に向けて探究した結果をとりまとめたレポートにより、思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（B日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答

する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

医療保健学部 医療情報学科

1. 人や生命に関心がある人。

医療保健は人や社会を基盤としており、全ての人のウェルビーイングと一緒に追求したい人を歓迎します。

2. 社会における情報基盤の重要性・可能性を理解している人。

3. 身近な情報技術やデータに興味や親しみがある人。

4. 社会課題を解決する意欲がある人。

新しい技術を活用し、社会課題を解決する意欲がある人を歓迎します。

5. 倫理観を大切にする人。

医療および情報分野では、専門的倫理観を持ってチームで活動することが求められます。人やチームを尊重する人を歓迎します。

高等学校において必ず履修すべき特定の科目はありません。医療情報学は多様な視点が必要な分野です。好きな科目、好きな分野を活かしたい、伸ばしたいという気概を持つ人を歓迎します。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

1) 課題探究型

課題探究の過程で得られた学びや気づきを、レポートと面接で評価します。また、学びの計画や意欲、将来のビジョン等を自己推薦書と面接から評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。

2) 面接重視型

自己推薦書の作成や面接準備、面接における対話等の過程で得られた学びや気づきを中心に、自己推薦書と面接から評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。

3) 資格保有型

高等学校で取得した資格への取組を中心とした学びや成果、志望理由と学びの計画、将来ビジョンを自己推薦書及び面接で評価します。これらの評価に基づき多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性・協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（B日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語・国語・数学・理科の4教科6科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、同時に高得点科目の配点を高くすることで、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語・国語・数学・理科・情報の5教科8科目の中から2科目を採用する方式により、文系から理系までの広い範囲や得意とする特定分野があるなど、受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

東が丘看護学部

東が丘看護学部では、将来の日本の医療・保健・福祉を支える看護師（tomorrow's Nurse）を育成します。

看護師は、患者さんとそのご家族にとって最も身近な存在であり、チーム医療のキーパーソンです。東が丘看護学部では、国立病院機構のネットワークを活かした実践的な教育システムによって、将来の日本の看護師に必要な 3 つの能力、①高度な知識と技術に基づく自律した「看護実践能力」、②看護の発展に貢献する「自己開発能力」、③専門職として自己の成長を推進する「キャリア開発能力」を育成します。そのため、次のような資質を有する人材の入学を求めています。

看護師には、対象となる人々のニーズを見据え、専門職としての自律性に基づく確かな看護を実践することが求められます。そのため、十分な基礎学力に加え、新たな知識を自ら調べて自ら考える「自調自考」の学習姿勢を持った人を求めます。

また、人々の価値観が多様化するなかで、あらゆる状況や場にある生活者一人一人に応じた看護を提供するうえで、様々な医療専門職との連携・協働が重要です。そのため、人間一人一人をかけがえのない存在として思いやり、尊重しながら他者と関係性を築き、協力して物事を成し遂げることのできる人を求めます。

さらに、医療の進歩や社会のニーズの変化のなかで、看護師は生涯にわたって主体的に自己啓発し、専門職としてのキャリアを開拓し続けることが必要な職業です。そのため、看護を通して「自分を磨きたい!」、「看護師として成長していきたい!」という意欲と情熱を持つ人を求めます。

なお、本学部では、1年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理、化学、生物、数学に関する基礎知識の定着を図っていますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修しているか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修していることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

自己推薦書により、高等学校教育までに育まれた「高等学校での学び」と「確かな学力」を中心に、本学が求める資質についての評価を行います。調査書では高等学校での修学状況や学内外での活動状況等から、意欲・主体性・協調性・積極性などに、面接では意欲・表現力・主体性・人間性などに、それぞれ重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動での主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文では、医療・保健・福祉等についての記述を通じて、思考力・判断力・表現力の評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて数学・理科の2教科4科目の中から1科目を選択解答する方式により、いわゆる理系科目の基礎学力に重点をおいた学習能力を判定します。

一般選抜（B日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

立川看護学部

立川看護学部看護学科では、看護の実践能力、災害対応能力、看護を探究する能力を兼ね備えた「地域から信頼される Nurse」を育成します。

現在は、社会の高齢化が進み、病院内だけでなく、人々が生活する場での看護が重要視されています。一方で、各地で自然災害が発生している状況では、被災者にとって最も身近な医療職である看護職が、最善の看護を提供できることが必要とされています。

そこで、立川看護学部は、国立病院機構災害医療センターを中心とした、立川市近辺の病院や様々な施設との連携を活かし、臨地実習や多職種との連携・交流を通じて、健康支援への看護実践能力はもちろん、災害対応能力や看護探究能力を兼ね備えた、質の高い地域から信頼される看護師を育てます。

看護学を学ぶ学生には、生命の尊厳を理解し、知的好奇心をもって看護を探究する姿勢が必要です。基礎学力を備えていることは当然ですが、何事にも興味を持って取り組む姿勢が大切です。本学部ではさらに、看護を通して「災害時でも最善の看護が提供できる能力を身に付けたい！」という情熱と、未来の臨床現場を担う決意と高い志を持った学生を求めています。

なお、本学部では、1年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理、化学、生物、数学に関する基礎知識の定着を図っておりますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修しているか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修していることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

事前に提示する課題に対して、知識・能力を活用して作成する「事前課題レポート」により、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書及び面接では、受験者の意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動での主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文問題では、課題を的確に理解・判断し自分の考えを記述する力、論理的・批判的及び発展的思考力、文章構成や表現力の評価を行います。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（B日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

千葉看護学部

千葉看護学部では、東京医療保健大学の方針に基づいて、地域完結型の医療保健に積極的に参画できる看護専門職を育成します。

そのために、今、みなさんが持っている柔軟性と応用力をさらに強化して、あらゆる人の生活をより充実したものにするために、サポートする能力を培うことを志向する人を求めています。

日ごろから他者への興味・関心を持ち続け、相手の話を聴いて、その人の願いを実現するために自分にできることを探そうとする姿勢が求められます。

また大学入学後は、ボランティアや部活、課外活動など、生活者としてのさまざまな体験をされることを希望します。それが、さまざまな世代と立場の人との関わりの際に役に立ちます。また、それらの特別な場だけでなく、日常生活の中であっても、出会う人や何気ない景色やニュースから、人々の幸せとは何か、「未来」を生み出す「今」を考え、自分なりの意見を持つことが可能です。

看護専門職は大学を卒業し、国家試験に合格したら「完結」するわけではありません。看護職となってからも新しい知見を身につけて自分の力で成長し続けます。大学では 4 年間の在学期間だけでなく、卒業後も自律して成長し続けることができるための基盤を形成します。

そのために、常に広い視野で、かつ深く、見つめようとする意志を持つ人材を求めています。

なお、本学科を希望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

課題レポートにより、受験者の思考力・判断力・表現力などの評価を行います。自己推薦書では、受験者の意欲・主体性・協働性などに重点をおいた評価をします。面接では、課題レポートならびに自己推薦書の記載内容と合わせて、思考力・判断力・意欲、主体性、協働性に重点をおいた評価を行います。これらにより、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、協働分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A 日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の 3 教科 5 科目の中から 1 科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（B 日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の 3 教科 5 科目の中から 1 科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

和歌山看護学部

和歌山看護学部看護学科では、何事にも興味をもち主体的に学ぶ能力と、コミュニケーション能力を備え、さらに地域社会に関心を持ち、そこで生活する人々の健康を担う決意と高い志を持った学生を求めています。

現在、和歌山県は人口の減少、高齢化、単独世帯の増加が進んでおり、地域で暮らす人々が病気や障がい、高齢になっても住み慣れた場所で少しでも長く自立した生活が続けられるよう支援することが地域社会の課題となっており、地域で暮らす人々の健康の維持・増進に貢献できる質の高い看護職が必要とされています。

具体的には、高度急性期医療における看護や在宅で療養中の方々に対する支援や看護、和歌山県で今後起こりうる自然災害時などへの看護があげられます。そのためには、高度な判断力と確かな看護実践能力をもって、チーム医療の一員としての役割が果たせる看護職が必要となります。

そこで、和歌山看護学部看護学科では、地域の特性を把握し社会・文化・人間と生活に対する理解を深め、豊かな人間性と倫理観をもち、多様な環境においてあらゆる健康レベルの対象に働きかけできる看護職、時代の要請に応える新たな看護を創造していくことができる看護職を育成していきます。

なお、本学科を志望される方は、入学後の専門科目の履修の基盤となりますので、理科の選択科目において「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

各入試における評価内容等は次のとおりです。

総合型選抜

予め提示されたテーマについて、主体的に創意工夫しながらプレゼンテーションを行うことで、知識・技能・思考力・判断力・表現力を評価します。自己推薦書と面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

学校推薦型選抜

調査書により受験者の知識・技能の修得状況、特別活動における主体性や協働性、特定分野での卓越した能力などを把握します。小論文、面接では、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行って、多面的・総合的に判定します。

一般選抜（A日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から1科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の得意とする科目での受験を可能とし、受験者の特性に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（C日程入試）

個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力を重点的に評価し、選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を選択解答する方式により、文系・理系を問わず受験者の履修状況に応じた学習能力を判定します。

一般選抜（特別日程）

記述式による個別学力検査により、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力及び表現力を重点的に評価します。面接では、意欲・表現力・主体性・人間性などに重点をおいた評価を行います。調査書では、高等学校での修学状況や学内外の活動状況等に基づき多面的な評価を行い、個別学力検査、面接とあわせて多面的・総合的に判定します。

大学入学共通テスト利用入学試験

大学入学共通テストの得点に基づき、高等学校教育で培われた知識・思考力・判断力に重点をおいて選抜を行います。英語を必須とし、それに加えて国語・数学・理科の3教科5科目の中から2科目を採用する方式により、文系・理系を問わず履修状況に応じた学習能力を判定します。